

世田谷介護ネットニュース

第28号

発行日：平成24年2月27日

発行：世田谷区介護サービスネットワーク

事務局：世田谷区社会福祉事業団

世田谷区福祉人材育成・研修センター

連絡先：東京都世田谷区成城6-3-10

電話：(03)5429-3100

第3回スポット研修報告

「高次脳機能障害3～半側無視の障害について～」と題して、1月23日に成城ホール集会室CDにて開催しました。たくさんのご応募があり、当日は大雪にもかかわらず78名の方のご参加をいただきました。

今回は「半側空間無視」という、反対側が見えずにまったく無視してしまうという、障害についての研修でした。実際、研修に参加された方にも、左目を隠して点を書いたり、絵を見て書いたり、疑似体験していただきました。

思わぬところで半側空間無視の疑いが出てくる方もいたり・・・DVDの実際の映像とあわせ、いままで気づかなかった障害に、高次脳機能障害という障害の奥の深さを学びました。

3回通して講師をしてくださいました、総合福祉センターの作業療法士、繁野玖美先生からも「今回の研修をとおして自分自身ももっとやる気が出、感謝しています。」とお礼の言葉をいただきました。

繁野先生は、研修終了後もご質問のあった方に丁寧に

ご指導してくださり、ありがたかったです。

研修グループの23年度の研修は今回ですべて終了しました。24年度は事業団の研修センターとも協同し、より幅を広げてニーズにあった研修を行いたいと思います。

ご参加くださいました皆様、講師の先生方、研修センターの皆様ありがとうございました。

研修グループ代表 宮川英子



せたがや通所連絡会第4回全体会報告

平成24年2月14日、せたがや通所連絡会は成城ホール4階集会室Eで第4回全体会を行いました。『今から使える古武術介護技術』が今回の研修会のテーマです。古来日本に伝わる古武術を基に武道家甲野先生の愛弟子である北川智久先生が今回の講師でした。

実技を中心に、とても熱心な指導を頂きました。参加

者からも質問が多く出ました。実際の介護現場でどうやったらうまくいくか？いくつもの質問が即座に動きとなって参加者とともに実践しました。会場の熱気で上着を脱いで腕まくりをする参加者も見られました。講義時間はあっという間に過ぎ、とても充実した全体会が開催できたと思われました。

本年度は9月、11月と専門医の医学的な研修会を開催しました。今回はアンケートでリクエストの多かった研修会を行いました。世田谷介護サービスネットワークに入会して頂けると各部会（通所連絡会、訪問介護連絡会、研修グループ他）が主催する研修会や講義等、無料で参加できます。

次回は3月21日水曜日に第5回通所連絡会定例会を開催する予定です。テーマは4月からの法改正・情報交換会。是非参加頂けますようお願いいたします。詳しくは世田谷区福祉人材育成・研修センターまでご連絡下さい。



せたがや通所連絡会 幹事

おおしま整形喜多見介護センター 土井知紀

連載 薬局からこんにちは(12) ～薬局成城ファーマシー祖師谷店 大山孝子

薬は飲み込めないで、とろろ芋に混ぜて服用しています・・・とある患者様がこんな話をされていました。

1日何度も服用する薬。患者様にとって、毎日の薬をどのようにして服用するかが大きな問題になることがあります。そのため、とろみをつけた水や、ペースト状のオブラートと一緒に服用する方法のほかに、カスタードクリームに混ぜたり、ごはんにまぜたり・・・薬の効き目への影響は別問題として、皆さん様々な工夫をされていることに驚きます。

今回はそのなかで注意が必要な組み合わせの一例を紹介します。

マクロライド系と呼ばれるグループの抗生物質の粉薬は、スポーツ飲料(イオン飲料)、や酸性のジュース、ヨーグルトなどに混ぜると、苦味を感じ、逆に飲

みづらくなってしまう。具体的にはクラリス、ジスロマックなどの薬がこのグループに属します。マクロライド系の粉薬はもともと薬の成分自体に苦味があります。この苦味をマスクするために甘味料などでコーティングがしてありますが、このコーティングは胃酸によりはがれ、薬の成分が溶け出すように工夫されています。そのため、酸性の飲み物や食べ物と混ぜてしまうと、せっかくのコーティングがはがれてしまい、苦味を強く感じるようになります。



ジュースに混ぜてせっかく飲みやすく工夫したつもりが、このように逆効果になってしまう可能性があります。薬と食べ物、飲み物の組み合わせにも注意が必要です。

第3回せたがや訪問介護連絡会定例会開催しました！

今回のテーマは、4月の法改正に向けて、現在決まっていることを踏まえて訪問介護の事業所が、今どんな準備をすればいいのかということをお話することを目標に、2月20日に研修センターにて開催しました。

講師として、介護福祉士会副会長の内田千恵子氏にお越しいただきました。

訪問介護は「お世話型介護」とみなされているため評価が低く、訪問介護の民間の事業所が、信用されていないため、在宅に厳しいのだということでした。

また、今回、生活援助45分未満190単位、45分以上235単位ということになりました。変更の理由として、45分で終わればヘルパーさんは次の仕事に行けて、事業所も仕事が増えたくさんの利用者宅へ行けるだろうということだそうですが、60分で実施していたことを45分に圧縮すれば、切り捨てることや効率のみを優先することになるのではないかと。単なる、効率的な仕事となりヘルパーの離職につながるのではないかと。

また、医療行為を介護福祉士にやらせようという動きがあることなど、お話いただきました。しかし、やるべき仕事はやらなければいけないので、今後、職場内でしっかりと、協力体制を作ること、また、事業所として、改正のたびに振り回されるのではなく、介護職が希望を見失わないよう、自分の事業所の質を上げることを考え、自信を持ち、無理なことは無理だ

という。サービスに見合った報酬をいただく。このようなことを積み上げていくことが大切ではないかと話されました。

また、たくさんの方から真剣な質問が出ましたが、まだ全てが決まっているわけではなく、解釈通知も出ていない状況でしたので、ご質問への回答ができなかったりしましたが、大半の方からなんとなく分かり、考える材料になったとのアンケート回答がありました。

今後も訪問介護連絡会としましては、各事業所間の交流を図り、他職種とも連携し、皆さんと考えていきたいと思っています。

訪問介護連絡会 宮川英子



世田谷区からのお知らせ

◆せたがや福祉 100 人委員会「最後まで在宅」部会主催のシンポジウム 区民の視点で考えるシンポジウム 「地域で支える認知症」

第 1 部 基調講演「これだけは知っておきたい認知症」

古田伸夫・浴風会病院精神科医長

第 2 部 パネルディスカッション「さまざまな場所、さまざまな形で支える認知症」

第 3 部 質疑応答「ひとりで抱え込まないで、あなたの声を」

[日 時] 3 月 10 日 (土) 13:00~16:00 (開場 12:30)

[場 所] 烏山区民センターホール (世田谷区南烏山 6-2-19)

[参加費] 無料、申し込み不要、先着 400 人

[問い合わせ] せたがや福祉 100 人委員会「最後まで在宅」部会 (中澤)

電話/FAX 03-5477-9891 Eメール mayucat2jp@ybb.ne.jp



◆研修・講演会のご案内

平成 24 年度報酬改定に伴う請求事務説明会

実施日時：平成 24 年 3 月 21 日 (水) 10:00~11:00※事前申込は不要です。

会 場：世田谷区民会館別館 三軒茶屋分庁舎 5 階「三茶しゃれなあど」

対 象：区内の介護保険サービス事業所・施設の請求事務担当者

内 容：平成 24 年度介護保険報酬改定に伴う請求事務の留意点について、東京都国民健康保険団体連合会から説明します。区のホームページにも掲載しますのでご確認のうえ、ご出席ください。

※なお、この説明会では平成 24 年度の介護保険報酬改定に関する説明は行いません。

【お問合せ】地域福祉部 介護保険課 保険給付係 TEL：5432-2646 FAX：5432-3042

第 3 回通所連絡会定例会報告

平成 23 年 11 月 15 日 (火) 第 3 回せたがや通所連絡会定例会では、研修として昨年に引き続き三軒茶屋リハビリテーションクリニック院長長谷川幹先生を講師に、通所に役立つ症例及びリハビリとして「国際生活機能分類の理解」をテーマに、講演して頂きました。又、研修後半は同クリニックの理学療法士の中島鈴美先生によるリハビリの講義と実習をして頂きました。

今後急速に高齢化が進む都市部のマーケット分析からはじまり、現在も大きな問題となっている「骨粗しょう症」の実態、例えば「全骨格量の約 6% が常にリモデリングされ、4 年で全部が置換する」又、「25% 減少すると骨強度は 50% 減少する」など、とかく諦めがちな高齢者の骨粗しょう症に対する考え方を払拭するような視点が提示されました。カルシウムやその予防法としての食事療法や運動療法の重要性を改めて実感しました。また、通所の役割は「利用者による主体性の再構築」であり、それが通所事業所としてのパワーとなり、そして「利用者自身の役割を見出し、職員がその人たちの舞台を作る」という言葉が印象的でした。

参加事業所 11 名、参加者数 20 名と、チラシ配布の期間



が 3 週間前と短かったこともあり、いつもより少なかったのですが、参加した事業所職員等は、「講義の内容が濃く、大変啓発された」とアンケートに答えていました。

来年度も (24 年度) も是非同じ内容で研修を行い、多くの事業所職員が参加し、事業所の質の向上に役立ててほしいと思います。

通所連絡会幹事 デイサービスにこここ 榎村隆男

砧地域ご近所フォーラム 2012 参加報告 災害対策小委員会

平成 24 年 2 月 18 日（土）に成城ホールで開かれた砧地域ご近所フォーラム 2012 で、昨年 11 月に実施した災害時アンケート調査結果について報告してきました。

フォーラムのテーマは「災害時に要介護高齢者をどう守るか」でした。昨年の東日本大震災を受けて行った世田谷区介護サービスネットワークのアンケート調査は、現在集計中でしたが、フォーラム主催者からの要請もあり、砧地域に限定した集計作業を行い、パワ



ーポイントで発表しました。発表時間は 5 分間と短時間でしたが、他の発表も大変興味深い内容でした。

砧地域では医師会、歯科医師会、薬剤師会などの連携が進んでいるようで、多くの医師が参加しているのに感心しました。

災害時アンケートについては報告書の構成を考える段階まで進行しています。4 月中には皆さまにご覧いただけると思います。ご期待ください。

辻本きく夫

研修情報・イベント情報

世田谷区医師会主催 「医療と福祉と介護の連携フォーラム」のお知らせ

日時：平成 24 年 3 月 9 日（金）午後 7 時～9 時
会場：烏山区民会館ホール（南烏山 6-2-19）
対象：医師、歯科医師、薬剤師、MSW、看護師、ケアマネジャー、介護福祉士、地域包括職員、行政
申込み：不要、問い合わせ先：事務局 3410-5111
内容：第一部「事例から見える、医療と福祉と介護の

他職種連携の検討」
第二部「医療と福祉と介護の他職種連携に関わる問題点の解決策を探る」
後援：世田谷区

お時間の許す方は是非ご参加ください。

◆詳しくはチラシをご覧ください。

【世田谷区介護サービスネットワークの今後の予定】

* 日付の入っていないものは開催予定月。かつこ内はテーマです。詳しい情報は後日ファックスまたは郵便でお知らせします。また、ホームページでも最新情報を発信しますのでご覧ください。

<http://www.setagayaj.or.jp/kaigo/>

◆平成 24 年度総会の事前告知

平成 24 年 5 月 22 日（火）午後 7 時から
会場：世田谷区民会館集会室

◆通所連絡会☆

第 5 回通所連絡会定例会

『法改正情報、意見交換会』（仮題）

平成 24 年 3 月 21 日（水）18:30～20:30

会場：未定

◆スポット研修☆

23 年度の予定はすべて終了しました。次号に 24 年度の予定を掲載します。

◆在宅介護経営部会☆

1) 平成 24 年 3 月「法改正対策」

日時、会場未定

◆【世田谷区福祉人材育成・研修センターの研修】☆

1) 認知症ケア研修【実践事例検討 3】

平成 24 年 3 月 6 日（火）9:30～12:00
研修センター

2) 課題別研修「ストーマ装具交換の介護職向け研修」

平成 24 年 3 月 8 日（木）14:30～17:00
世田谷区社会福祉事業団本部 A・B 会議室

3) 課題別研修「在宅介護のための栄養と食事」

平成 24 年 3 月 13 日（火）18:15～20:15
成城ホール集会室 C・D

4) サービス提供責任者研修（実践編）

平成 24 年 3 月 15 日（木）18:30～20:30
研修センター

☆ 詳しくは下記にお問い合わせください。
世田谷区福祉人材育成・研修センター
電話：5429-3100

会員事業所の研修、イベントの情報を掲載します。ネットニュースは、隔月奇数月に発行します。希望者は、事前に事務局にお問い合わせください。ただし、掲載できるのは非営利の研修、講演会、イベント等に限りです。

編集担当から

来る 3 月 11 日は東日本大震災から 1 周年目です。この一年、日本社会は大きな試練と直面してきました。事業者として災害とどのように向き合うか、次年度は事業種ごとに考える

機会を作りたいと考えております。◆4月の法改正への対策は進んでいますか。できる限り世田谷区内の事業所は統一した見解で臨めるように事業種ごとに対応方法を考えていただけると幸いです。(K.T.)

問い合わせ先

社会福祉法人世田谷区社会福祉事業団
世田谷区福祉人材育成・研修センター
電話：03(5429)3100、FAX：03(5429)3101